

## 仮設住宅の建設および入居とサポート体制

### ■仮設住宅戸数(2012年(平成24年)6月15日現在)

応急仮設住宅	1,753戸
既設公営住宅転用(市営牛網別当・下浦・小松住宅、鹿妻地区雇用促進住宅)	93戸
小計	1,846戸
民間賃貸住宅応急仮設(みなし仮設)件数	1,273戸
合計	3,119戸

### ■福祉仮設住宅および集会所建設戸数

グループホーム(戸)						集会所
高齢者向け		障害者向け		合計		
棟数	戸数	棟数	戸数	棟数	戸数	19 ※談話室も含む ケア対応 2
2	16	2	10	4	26	

※ケア対応集会所: サポート機能付き集会所で、設備に浴室を追加



建設中のグリーンタウンやもと仮設住宅の様子



建設中のひびき工業団地仮設住宅の様子



仮設住宅を訪問する被災者サポートセンター職員

### ■被災者サポートセンター設置状況

- ・開設箇所: 4か所
- ・主な業務: 被災者への総合相談体制  
(一部運営委託先: 東松島市社会福祉協議会)

### ■離職者の状況と対策

- 失業保険受給者数 石巻圏域で8,200人、  
うち、東松島市内では約1,500人

関係団体(宮城労働局、ハローワーク、商工会)と連携し、求人情報などを提供。また、市建設業協会での雇用として災害廃棄物処理や交通誘導員、家屋撤去作業に約600人が従事するなど、雇用の受け皿の一翼を担いました。

## 災害廃棄物の処理および被災家屋の解体 ～リサイクルの推進および処分費用の軽減のため、分別を徹底～

### (1) 分別とリサイクルの徹底

災害廃棄物仮置場において、14品目に分別仮置きを徹底。

- ①木材 ②プラスチック ③タイヤ ④紙 ⑤布 ⑥畳 ⑦石 ⑧コンクリート類  
⑨家電 ⑩家電4品目 ⑪鉄類 ⑫有害ゴミ ⑬処理困難物 ⑭土砂

### (2) 手選別による19品目の分別

災害廃棄物仮置場において、19品目に分別仮置きを実施。

選別作業員に多くの被災者を雇用しました。

- ①土砂 ②ヘドロ ③解体系木材 ④自然木 ⑤コンクリート類 ⑥アスファルト殻  
⑦石膏ボード ⑧プラスチック類 ⑨繊維類 ⑩畳 ⑪粗大系(ベッドマットレスなど)  
⑫金属類 ⑬家電 ⑭ガラス類 ⑮小型家電 ⑯消火器 ⑰油類 ⑱肥料 ⑲複合素材類



大曲浜仮置場の様子(2011年(平成23年)4月)



大曲浜仮置場での分別の様子(2012年(平成24年)6月11日)

### ■発生推計量(2014年(平成26年)1月1日現在)

災害廃棄物		土砂類		発生推計量 (津波堆積物含む)	
可燃物	450,000t	津波堆積物	2,160,800t		
不燃物	648,000t				
小計	1,098,000t	小計	2,160,800t		

※1,098,000tは市内で通常発生する一般廃棄物(家庭ごみなど)の100年分以上

### ■仮置場搬入量(2014年(平成26年)1月1日現在)

- ・災害廃棄物 1,098,000t(搬入率100%)
- ・土砂類 2,160,800m<sup>3</sup>(搬入率100%)

### ■被災家屋解体件数(2014年(平成26年)1月1日現在)

申請件数	5,891件	解体件数	5,891件	進捗率	100%
------	--------	------	--------	-----	------